



## 2021年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2021年2月2日  
上場取引所 東

上場会社名 日本酸素ホールディングス株式会社  
 コード番号 4091 URL https://www.nipponsanso-hd.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 市原裕史郎  
 問合せ先責任者 (役職名) IR部長 (氏名) 梅原崇禎 TEL 03-5788-8512  
 四半期報告書提出予定日 2021年2月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家、アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		コア営業利益		営業利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	592,256	△6.5	60,468	△11.4	63,154	△12.2	38,275	△10.0	37,318	△9.8	66,032	131.6
2020年3月期第3四半期	633,435	22.3	68,251	55.6	71,896	60.9	42,547	46.6	41,358	51.9	28,511	47.5

(参考) 税引前利益 2021年3月期第3四半期 54,721百万円(△10.2%) 2020年3月期第3四半期 60,915百万円(44.3%)  
 コア営業利益は、営業利益から非経常的な要因により発生した損益（非経常項目）を除いて算出しております。

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	86.24	—
2020年3月期第3四半期	95.57	—

### (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	1,789,466	491,174	461,506	25.8
2020年3月期	1,751,732	440,693	409,344	23.4

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	14.00	—	14.00	28.00
2021年3月期	—	14.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	14.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		コア営業利益		営業利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	802,000	△5.7	83,000	△8.1	84,600	△9.9	49,600	△9.9	48,100	△9.8	111.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

(参考) 税引前利益 通期 72,900百万円(△7.9%)

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	433,092,837株	2020年3月期	433,092,837株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	341,763株	2020年3月期	339,139株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	432,752,699株	2020年3月期3Q	432,755,895株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	8
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(セグメント情報) .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

## 全般の概況

当第3四半期連結累計期間(2020年4月1日から2020年12月31日まで)における当社グループの事業環境は、新型コロナウイルス感染症の世界的拡大の影響により、第1四半期連結会計期間では進出国及び地域において大幅な景気低迷と需要減退の局面を迎え、製造業の生産活動も急速に減速・停滞しておりました。しかし第2四半期連結会計期間に入り一般的に回復の兆しが現れはじめ、当第3四半期連結会計期間でもセパレートガス(酸素、窒素、アルゴン)の出荷が緩やかに復調してきましたが、前期に比べて大きく減少しました。

このような状況の下、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上収益5,922億56百万円(前年同期比6.5%減少)、コア営業利益604億68百万円(同11.4%減少)、営業利益631億54百万円(同12.2%減少)、親会社の所有者に帰属する四半期利益373億18百万円(同9.8%減少)となりました。

なお、コア営業利益は営業利益から非経常的な要因により発生した損益(事業撤退や縮小から生じる損失等)を除いて算出しております。

セグメント業績は、次のとおりです。

なお、セグメント利益はコア営業利益で表示しております。

## ① 国内ガス事業

産業ガス関連では、主力製品であるセパレートガスの売上収益は、関連業界での生産活動が低調に推移し、前期に比べ大きく減少しました。一方、エレクトロニクス関連での電子材料ガスの売上収益は微増となりました。機器・工事では、エレクトロニクス関連で大きく増収となりましたが、空気分離装置や金属加工向けの溶接・溶断関連機材を中心に前期を大きく下回りました。

以上の結果、国内ガス事業の売上収益は、2,422億16百万円(前年同期比6.9%減少)、セグメント利益は、191億27百万円(同4.2%減少)となりました。

## ② 米国ガス事業

産業ガス関連では、パッケージ・バルクガスを中心に、主力製品であるセパレートガスの売上収益は大きく減少しました。オンサイトでは、供給先の需要低下の影響で前期を下回りました。機器・工事では、エレクトロニクス関連での売上収益は増加しましたが、金属加工向けの溶接・溶断関連機材では、州内での小売店舗の営業活動自粛の影響もあり、大幅に減少しました。

以上の結果、米国ガス事業の売上収益は、1,393億85百万円(前年同期比6.4%減少)、セグメント利益は、160億77百万円(同4.2%減少)となりました。

## ③ 欧州ガス事業

主要地域となるイベリア(スペイン・ポルトガル)、ドイツ、イタリアでは、生産活動全般で停滞が生じたことにより、パッケージ及びバルクガスの需要は大きく落ち込みました。また、オンサイトは、供給先の需要低下の影響を受けて、大幅に減少しました。機器・工事では、金属加工向け溶接・溶断関連機材を中心に大きく減少しました。

以上の結果、欧州ガス事業の売上収益は、1,159億38百万円(前年同期比7.5%減少)、セグメント利益は、145億90百万円(同24.1%減少)となりました。

## ④ アジア・オセアニアガス事業

産業ガス関連では、フィリピン等での都市部封鎖や製造業の生産活動停滞の影響を受け、主力製品であるセパレートガスの売上収益は大きく減少しました。LPガスでは、仕入での契約価格低下による販売単価の下落はありましたが、豪州での出荷は堅調でした。エレクトロニクス関連では、東アジアでの電子材料ガスの出荷は好調です。機器・工事では、台湾での工事案件の剥落に加え、シンガポールでのスポット案件の減少と金属加工向け溶接・溶断関連機材を中心に大きく減少しました。

以上の結果、アジア・オセアニアガス事業の売上収益は、770億79百万円(前年同期比2.6%減少)、セグメント利益は、81億14百万円(同0.4%減少)となりました。

## ⑤ サーモス事業

サーモス事業は、国内では、第1四半期連結会計期間での外出制限や営業自粛要請により、行楽シーズンでの販売機会を喪失した影響が大きく、主力製品のケータイマグの売上収益は大きく減少しました。一方、自宅で過ごす時間の長い新たなライフスタイルが浸透したことに関連し、フライパンやタンブラーの販売数量は大きく増加しました。海外では、各地域での景気減退の影響を受け、販売数量が減少しました。

以上の結果、サーモス事業の売上収益は、176億35百万円（前年同期比 11.2%減少）、セグメント利益は、35億56百万円（同 41.3%減少）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は1兆7,894億66百万円で、前連結会計年度末比で377億33百万円の増加となっております。為替の影響については、前連結会計年度末に比べ期末日レートがUSドルで5円33銭の円高、ユーロで7円40銭の円安となるなど、約344億円多く表示されております。

## 〔資産〕

流動資産は、棚卸資産の増加や現金及び現金同等物の減少等により、前連結会計年度末比で72億25百万円増加し、3,745億27百万円となっております。

非流動資産は、のれんやその他の金融資産の増加等により、前連結会計年度末比で305億8百万円増加し、1兆4,149億38百万円となっております。

## 〔負債〕

流動負債は、社債及び借入金の増加やその他の金融負債の減少等により、前連結会計年度末比で15億7百万円増加し、3,334億11百万円となっております。

非流動負債は、繰延税金負債の増加や社債及び借入金の減少等により、前連結会計年度末比で142億54百万円減少し、9,648億81百万円となっております。

## 〔資本〕

資本は、親会社の所有者に帰属する四半期利益の計上による増加や利益剰余金の配当、在外営業活動体の換算差額の増加等により、前連結会計年度末比で504億80百万円増加し、4,911億74百万円となっております。

なお、親会社所有者帰属持分比率は25.8%で前連結会計年度末に比べ2.4ポイント高くなっております。

## (キャッシュ・フローの分析)

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

税引前四半期利益、減価償却費及び償却費、法人所得税の支払額又は還付額等により、営業活動によるキャッシュ・フローは885億69百万円の収入となりました。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産の取得による支出等により、投資活動によるキャッシュ・フローは441億53百万円の支出となりました。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

長期借入金の返済による支出、長期借入れによる収入、配当金の支払額等により、財務活動によるキャッシュ・フローは520億21百万円の支出となりました。

これらの結果に、為替換算差額等を加えた当第3四半期連結累計期間の現金及び現金同等物の四半期末残高は、956億70百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日（2021年2月2日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期 連結会計期間 (2020年12月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	100,005	95,670
営業債権	179,243	179,744
棚卸資産	65,886	73,904
その他の金融資産	7,147	7,331
その他の流動資産	15,020	17,876
流動資産合計	367,302	374,527
非流動資産		
有形固定資産	655,195	656,617
のれん	419,290	437,682
無形資産	232,077	233,145
持分法で会計処理されている投資	32,065	33,538
その他の金融資産	38,834	46,730
退職給付に係る資産	1,358	1,378
その他の非流動資産	971	1,342
繰延税金資産	4,637	4,504
非流動資産合計	1,384,430	1,414,938
資産合計	1,751,732	1,789,466

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期 連結会計期間 (2020年12月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務	93,885	90,814
社債及び借入金	154,980	159,989
未払法人所得税	8,331	7,388
その他の金融負債	51,525	48,140
引当金	375	370
その他の流動負債	22,805	26,707
流動負債合計	331,903	333,411
非流動負債		
社債及び借入金	807,611	783,779
その他の金融負債	29,171	28,717
退職給付に係る負債	12,952	13,754
引当金	3,281	3,425
その他の非流動負債	20,282	18,932
繰延税金負債	105,835	116,270
非流動負債合計	979,135	964,881
負債合計	1,311,038	1,298,292
資本		
資本金	37,344	37,344
資本剰余金	56,387	56,017
自己株式	△268	△272
利益剰余金	379,322	404,410
その他の資本の構成要素	△63,441	△35,994
親会社の所有者に帰属する持分合計	409,344	461,506
非支配持分	31,349	29,667
資本合計	440,693	491,174
負債及び資本合計	1,751,732	1,789,466

## (2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

## 要約四半期連結損益計算書

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上収益	633,435	592,256
売上原価	△388,228	△363,025
売上総利益	245,207	229,230
販売費及び一般管理費	△181,013	△171,588
その他の営業収益	9,685	3,223
その他の営業費用	△4,212	△1,881
持分法による投資利益	2,228	4,171
営業利益	71,896	63,154
金融収益	1,021	1,102
金融費用	△12,002	△9,535
税引前四半期利益	60,915	54,721
法人所得税	△18,368	△16,446
四半期利益	42,547	38,275
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	41,358	37,318
非支配持分	1,189	956
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	95.57	86.24



要約四半期連結包括利益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期利益	42,547	38,275
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する 金融資産	453	5,417
確定給付制度の再測定	△10	△17
持分法適用会社におけるその他の包括利益に 対する持分	9	△33
純損益に振り替えられることのない項目合計	452	5,366
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△12,600	22,531
キャッシュ・フロー・ヘッジの公正価値の 純変動の有効部分	40	131
持分法適用会社におけるその他の包括利益に 対する持分	△1,928	△272
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	△14,488	22,390
税引後その他の包括利益合計	△14,035	27,756
四半期包括利益	28,511	66,032
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	27,483	64,767
非支配持分	1,027	1,264

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

(単位:百万円)

	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金
2019年4月1日残高	37,344	53,116	△261	339,393
四半期利益	—	—	—	41,358
その他の包括利益	—	—	—	—
四半期包括利益	—	—	—	41,358
自己株式の取得	—	—	△6	—
自己株式の処分	—	0	0	—
配当	—	—	—	△11,688
支配継続子会社に対する 持分変動	—	0	—	—
企業結合又は事業分離	—	4,333	—	—
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	—	—	—	523
連結範囲の変動	—	—	—	12
その他の増減	—	—	—	—
所有者との取引額等合計	—	4,334	△6	△11,152
2019年12月31日残高	37,344	57,450	△267	369,599

その他の資本の構成要素

	在外営業活 動体の換算 差額	キャッシ ュ・フロ ー・ヘッジ の公正価値 の純変動の 有効部分	その他の包 括利益を通 じて公正価 値で測定す る金融資産	確定給付制 度の再測定	合計	親会社の所 有者に帰属 する持分 合計	非支配 持分	資本 合計
2019年4月1日残高	△33,440	△39	10,488	—	△22,991	406,602	29,251	435,854
四半期利益	—	—	—	—	—	41,358	1,189	42,547
その他の包括利益	△14,358	40	453	△10	△13,874	△13,874	△161	△14,035
四半期包括利益	△14,358	40	453	△10	△13,874	27,483	1,027	28,511
自己株式の取得	—	—	—	—	—	△6	—	△6
自己株式の処分	—	—	—	—	—	0	—	0
配当	—	—	—	—	—	△11,688	△674	△12,363
支配継続子会社に対する 持分変動	—	—	—	—	—	0	△92	△91
企業結合又は事業分離	—	—	—	—	—	4,333	1,961	6,294
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	—	—	△534	10	△523	—	—	—
連結範囲の変動	—	—	—	—	—	12	—	12
その他の増減	—	—	—	—	—	—	△233	△233
所有者との取引額等合計	—	—	△534	10	△523	△7,347	959	△6,388
2019年12月31日残高	△47,798	1	10,407	—	△37,389	426,738	31,239	457,977

当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

(単位:百万円)

	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金
2020年4月1日残高	37,344	56,387	△268	379,322
四半期利益	—	—	—	37,318
その他の包括利益	—	—	—	—
四半期包括利益	—	—	—	37,318
自己株式の取得	—	—	△3	—
自己株式の処分	—	0	0	—
配当	—	—	—	△12,121
支配継続子会社に対する 持分変動	—	△369	—	—
企業結合又は事業分離	—	—	—	—
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	—	—	—	1
連結範囲の変動	—	—	—	△110
その他の増減	—	—	—	—
所有者との取引額等合計	—	△369	△3	△12,231
2020年12月31日残高	37,344	56,017	△272	404,410

その他の資本の構成要素

	在外営業活動体の換算差額	キャッシュ・フロー・ヘッジの公正価値の純変動の有効部分	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	確定給付制度の再測定	合計	親会社の所有者に帰属する持分合計	非支配持分	資本合計
2020年4月1日残高	△71,170	19	7,709	—	△63,441	409,344	31,349	440,693
四半期利益	—	—	—	—	—	37,318	956	38,275
その他の包括利益	22,020	126	5,319	△17	27,448	27,448	307	27,756
四半期包括利益	22,020	126	5,319	△17	27,448	64,767	1,264	66,032
自己株式の取得	—	—	—	—	—	△3	—	△3
自己株式の処分	—	—	—	—	—	0	—	0
配当	—	—	—	—	—	△12,121	△555	△12,677
支配継続子会社に対する 持分変動	—	—	—	—	—	△369	△2,716	△3,086
企業結合又は事業分離	—	—	—	—	—	—	54	54
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	—	—	△18	17	△1	—	—	—
連結範囲の変動	—	—	—	—	—	△110	—	△110
その他の増減	—	—	—	—	—	—	272	272
所有者との取引額等合計	—	—	△18	17	△1	△12,605	△2,945	△15,551
2020年12月31日残高	△49,149	146	13,009	—	△35,994	461,506	29,667	491,174

## (4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	60,915	54,721
減価償却費及び償却費	63,073	64,120
減損損失	1,931	—
受取利息及び受取配当金	△1,021	△755
支払利息	10,713	9,514
持分法による投資損益 (△は益)	△2,228	△4,171
有形固定資産及び無形資産除売却損益 (△は益)	△6,529	△357
営業債権の増減額 (△は増加)	10,849	632
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△7,166	△6,698
営業債務の増減額 (△は減少)	△11,953	△4,416
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△311	△295
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	683	612
その他	1,349	△3,319
小計	120,305	109,587
利息の受取額	168	149
配当金の受取額	4,850	3,075
利息の支払額	△9,183	△8,743
法人所得税の支払額又は還付額 (△は支払)	△18,863	△15,498
営業活動によるキャッシュ・フロー	97,276	88,569
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△54,389	△43,865
有形固定資産の売却による収入	8,135	1,072
投資の取得による支出	△548	△524
投資の売却及び償還による収入	1,172	38
子会社の取得による支出	—	△119
子会社の売却による収入	1,586	—
その他	△1,064	△755
投資活動によるキャッシュ・フロー	△45,107	△44,153
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△411,569	△10,373
コマーシャル・ペーパーの純増減額 (△は減少)	6,000	4,000
長期借入れによる収入	386,617	52,308
長期借入金の返済による支出	△48,733	△76,000
社債の発行による収入	49,736	—
リース負債の返済による支出	△6,349	△6,485
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△43	△2,830
配当金の支払額	△11,688	△12,121
非支配持分への配当金の支払額	△674	△555
その他	△0	35
財務活動によるキャッシュ・フロー	△36,706	△52,021
現金及び現金同等物に係る為替変動による影響	△1,332	3,252
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	14,130	△4,353
現金及び現金同等物の期首残高	59,620	100,005
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	41	—
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	19
現金及び現金同等物の四半期末残高	73,791	95,670

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものがあります。なお、報告にあたって事業セグメントの集約は行っていません。

当社グループは、鉄鋼、化学、エレクトロニクス産業向けなどに国内外でガス事業を行っており、主要製品に関しては、日本、米国、欧州、アジア・オセアニアの各地域において、それぞれ生産・販売体制を構築しております。また、ステンレス製魔法瓶など家庭用品の製造・販売などの事業も行ってしております。したがって、当社は、「国内ガス事業」「米国ガス事業」「欧州ガス事業」「アジア・オセアニアガス事業」「サーモス事業」の5つを報告セグメントとしております。

各報告セグメントの主要な製品は、以下のとおりであります。

報告セグメント	主要な製品・サービス
国内ガス事業	酸素、窒素、アルゴン、炭酸ガス、ヘリウム、水素、アセチレン、ガス関連機器、特殊ガス（電子材料ガス、純ガス等）、電子関連機器・工事、半導体製造装置、溶断機器、溶接材料、機械装置、LPガス・関連機器、医療用ガス（酸素、亜酸化窒素等）、医療機器、安定同位体
米国ガス事業	
欧州ガス事業	
アジア・オセアニアガス事業	
サーモス事業	家庭用品

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成のために採用している方法と同一であります。なお、セグメント間の内部売上収益又は振替高は、主に市場実勢価格に基づいております。

(2) 報告セグメントごとの売上収益及び損益の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年12月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント						調整額 (注1)	連結
	国内ガス 事業	米国ガス 事業	欧州ガス 事業	アジア・ オセアニア ガス事業	サーモス 事業	合計		
売上収益								
外部顧客への売上収益	260,257	148,840	125,307	79,161	19,869	633,435	—	633,435
セグメント間の内部 売上収益又は振替高	7,447	11,970	82	2,319	20	21,840	△21,840	—
計	267,704	160,811	125,390	81,480	19,889	655,276	△21,840	633,435
セグメント利益(注2)	19,972	16,779	19,212	8,148	6,060	70,173	△1,922	68,251

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,922百万円には、セグメント間取引消去△465百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,457百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに配分していない基礎研究費用等です。

2. セグメント利益は、営業利益から非経常的な要因により発生した損益（事業撤退や縮小から生じる損失等）を除いて算出したコア営業利益で表示しております。

当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	連結
	国内ガス 事業	米国ガス 事業	欧州ガス 事業	アジア・ オセアニア ガス事業	サーモス 事業	合計		
売上収益								
外部顧客への売上収益	242,216	139,385	115,938	77,079	17,635	592,256	—	592,256
セグメント間の内部 売上収益又は振替高	8,090	13,534	14	2,341	21	24,003	△24,003	—
計	250,306	152,920	115,953	79,421	17,657	616,260	△24,003	592,256
セグメント利益 (注2)	19,127	16,077	14,590	8,114	3,556	61,466	△998	60,468

(注) 1. セグメント利益の調整額△998百万円には、セグメント間取引消去35百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,034百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに配分していない基礎研究費用等です。

2. セグメント利益は、営業利益から非経常的な要因により発生した損益 (事業撤退や縮小から生じる損失等) を除いて算出したコア営業利益で表示しております。

セグメント利益から、税引前四半期利益への調整は、以下のとおりであります。

(単位: 百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
セグメント利益	68,251	60,468
固定資産売却益	6,490	—
持分法による投資損益	—	2,749
減損損失	△1,927	—
その他	△917	△63
営業利益	71,896	63,154
金融収益	1,021	1,102
金融費用	△12,002	△9,535
税引前四半期利益	60,915	54,721